

令和6年9月11日

アウトリーチ活動報告書

北海道大学大学院医学研究院 吉川雄朗

2024年度研究助成<一般>の支援をいただき、北海道大学医学部においてアウトリーチ活動を実施いたしましたので報告致します。

アウトリーチ活動実施名：「VRゴーグルを使って薬の作用を勉強しよう！」

受領者氏名：吉川雄朗

所属機関名：北海道大学大学院医学研究院神経薬理学教室

役職：教授

対象：高校生約100名

令和6年8月5日に「VRゴーグルを使って薬の作用を勉強しよう！」と題した模擬実習を北海道大学医学部内で実施いたしました。これは将来的に医学部進学を希望している高校生を対象として実施したものととなります。医師として患者さんを治療する場合に、薬が重要であることは言うまでもありません。将来的に医学部では薬に関してどのような事を学ぶのか、そして医師として働く際には薬に関してどのような知識が必要になるのか、を高校生に理解してもらいたいと考えて企画しました。

このアウトリーチ活動においてはモルヒネによる鎮痛作用およびジアゼパムによる抗てんかん作用について理解することを目標にしました。まず事前に準備したスライドを用いてこれら2種類の薬について説明を行いました。質疑応答では参加者から多くの鋭い質問もあり、将来性豊かな高校生が医師を志望してくれている現状がよくわかりました。次にvirtual reality (VR) ゴーグルと「BMR VR」ソフトウェアを用いて実験動物に2種類の薬物を投与してその効果を確認しました。VR空間ではありますが、実際に投与した薬の効果を体験できたことは、今後医師を目指す上で良い契機となったのではないかと期待しています。

本活動に協力していただいた島根大学医学部の和田孝一郎先生、株式会社ERISAおよび神経薬理学教室のスタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。最後になりますがアウトリーチ活動を支援してくださった公益財団秋山記念生命科学振興財団に感謝申し上げます。